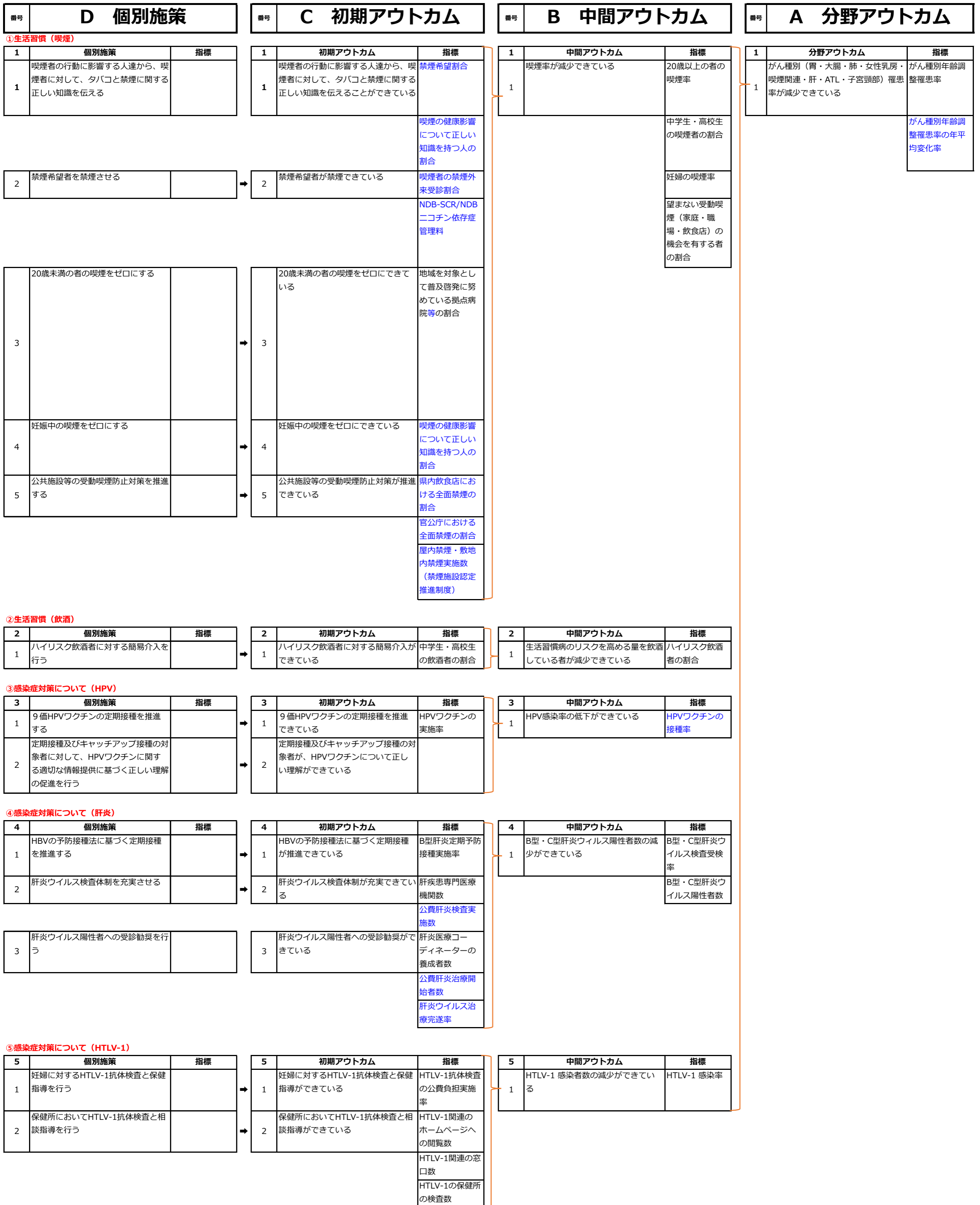


第4次沖縄県がん対策推進計画  
(協議会案)  
ロジックモデル

○がんの予防	P1
○がん検診	P2
○がん医療提供体制	P4
○緩和・支持療法	P8
○個別のがん対策	P11

# ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がんの予防】



# ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん検診】

番号	D 個別施策	
----	--------	--

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について

1	個別施策	指標
1	指針に基づいたがん検診のみを行う	
2	指針に基づかないがん検診を中止する	

番号	C 初期アウトカム	
----	-----------	--

1	初期アウトカム	指標
1	指針に基づいたがん検診が達成できている	指針の遵守市町村数
2	指針に基づかないがん検診を中止できている	指針に基づかないがん検診の実施数
		指針に基づかないがん検診を中止した市町村数

番号	B 中間アウトカム	
----	-----------	--

1	中間アウトカム	指標
1	科学的根拠に基づいた検診の実施ができています	指針の遵守市町村の割合

番号	A 分野アウトカム	
----	-----------	--

1	分野アウトカム	指標
1	検診がん種の早期がん（上皮内がん+限局割合）割合が増加できている	検診がん種別早期がん割合

②がん検診の精度管理等について

2	個別施策	指標
1	行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等は、国等が企画する研修会を受講する	

2	初期アウトカム	指標
1	行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等は、国等が企画する研修会を受講できている	全国がん検診従事者研修（基礎）を修了した担当者等の割合

2	中間アウトカム	指標
1	検診の質の管理体制の構築と精度向上ができています	精密検査受診率

2	受診率向上と精度管理のために県は研修会を開催し、市町村等の担当者は研修会等を受講する	
---	--	--

2	受診率向上と精度管理のために県は研修会を開催し、市町村等は担当者を受講させることができている	研修を終了した担当者等の数
---	--	---------------

		がん発見率
--	--	-------

		偽陽性割合
--	--	-------

		精検受診率の目標値90%以上を達成している市町村の割合
--	--	-----------------------------

		未把握率の目標値5%以下を達成している市町村の割合
--	--	---------------------------

		精検未受診率の目標値5%以下を達成している市町村の割合
--	--	-----------------------------

3	県は、がん登録情報等を活用したがん検診の精度管理について、市町村へ技術的支援等を行う	
---	--	--

3	県は、がん登録情報等を活用したがん検診の精度管理について、市町村へ技術的支援等ができている	がん登録情報を活用した精度管理を実施している市町村の割合
---	---	------------------------------

		要精検率の許容値を達成している市町村の割合
--	--	-----------------------

		がん発見率の許容値を達成している市町村の割合
--	--	------------------------

4	県は、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、それらに関する指導・助言等を行う	
---	---	--

4	県は、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、それらに関する指導・助言等ができている	県が指導・助言等を行った市町村数
---	--	------------------

		陽性反応適中度の許容値を達成している市町村の割合
--	--	--------------------------

5	市町村は、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上を行う	
---	---------------------------------	--

5	市町村は、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上ができている	国の示す「市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について」に基づいた事業評価をしている市町村の割合
---	------------------------------------	---

6	職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進する	
---	-----------------------------------	--

6	県および市町村は、職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進できている	がん検診の正しい情報提供を実施した市町村の割合
---	---	-------------------------

		がん検診の偽陰性率（感度）の把握をしている市町村の割合
--	--	-----------------------------

		がん検診の偽陰性率（感度）の把握をしている検診実施機関の割合
--	--	--------------------------------

		偽陽性率（特異度）の把握をしている市町村数の割合
--	--	--------------------------

		偽陽性率（特異度）の把握をしている検診実施機関の割合
--	--	----------------------------

		精度管理の実態や指標を定期的に評価・公開している市町村の割合
--	--	--------------------------------

③受診率対策について

3	個別施策	指標
1	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるように検討する	

3	初期アウトカム	指標
1	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるように検討できている	

3	中間アウトカム	指標
1	科学的根拠に基づく受診勧奨を行い、検診受診率の増加ができています	検診受診率

2	市町村及び県が連携して、より科学的かつ効率的な受診勧奨策（コール・リコールなど）を推進する	
---	---	--

2	より科学的かつ効率的な受診勧奨策（コール・リコールなど）を推進できている	受診勧奨実施市町村の割合
---	--------------------------------------	--------------

3	市町村及び県は、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上を行う	
---	---	--

3	受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上ができている	
---	------------------------------------	--

4	市町村は、啓発のための研修会等を行う	
---	--------------------	--

4	受診者ががん検診の意義及び必要性を適切に理解できている	普及啓発キャンペーン実施状況
---	-----------------------------	----------------

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん検診】

番号	D 個別施策	番号	C 初期アウトカム	番号	B 中間アウトカム	番号	A 分野アウトカム
5	県は、職域等におけるがん検診や人間ドックについて、実施状況の継続的な把握に務める	5	職域等におけるがん検診や人間ドックについて、実施状況の継続的な把握ができています				

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん医療提供体制】

番号	D 個別施策	番号	C 初期アウトカム	番号	B 中間アウトカム	番号	A 分野アウトカム
<b>①医療提供全般</b>							
1	個別施策	指標	1	初期アウトカム	指標	1	分野アウトカム
1	沖縄県は、必要に応じたがん医療の集約化を行う		1	必要に応じたがん医療の集約化ができています	医療計画に基づいて協議を行い決定したがん種の数(増加が良い)	1	「がん診療を行う医療施設」(以下「施設」)では、医療機関の機能分担を通じた質の高い安心な医療の効率的な提供ができています
					医療計画に基づいて協議を行い決定した「施設」の総数(減少が良い)		患者体験調査 がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合
2	すべての医療機関において、患者に対するインフォームドコンセントを適切に実施する		2	すべての医療機関において、患者に対するインフォームドコンセントが適切に実施できている	NDB-SCR/NDB がん患者指導管理料「イ」		患者体験調査 治療における希望が尊重されたと思う患者の割合
3	「施設」では、患者に対するセカンドオピニオンの提示などを適切に実施する		3	「施設」では、患者に対するセカンドオピニオンの提示などが適切に実施できている	「施設」におけるセカンドオピニオンの数		医療従事者調査 指標(検討中)
					NDB-SCR/NDB 診療情報提供料(II)		患者体験調査 がんの診断・治療全体の総合的評価
4	すべての医療機関において、患者に対するアドバンスケアプランニングを適切に実施する		4	すべての医療機関において、患者に対するアドバンスケアプランニング(以下、ACP)が適切に実施できている	ACPIに関する院内の手引き等を策定している「施設」の割合		患者体験調査 専門的な医療を受けられたと思う患者の割合
5	感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するための、全県および各二次医療圏におけるBCP(事業継続計画)について整備する		5	感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するための、全県および各二次医療圏におけるBCP(事業継続計画)について整備できている	BCPを整備している「施設」の割合		患者体験調査 これまで受けた治療に納得している患者の割合
6	「施設」同士および「施設」とそれ以外の医療機関等の連携を行う		6	「施設」同士および「施設」とそれ以外の医療機関等の連携ができている			
<b>②病理診断</b>							
2	個別施策	指標	2	初期アウトカム	指標	2	中間アウトカム
1	「施設」では、質の高い病理診断や細胞診断を行う		1	「施設」では、質の高い病理診断や細胞診断ができています	常勤の病理専門医が1名以上配置されている「施設」の割合	1	タイムリーな病理診断ができています(患者体験調査) 初診時から確定診断までの1ヶ月未満の人の割合
<b>③がんゲノム医療</b>							
3	個別施策	指標	3	初期アウトカム	指標	3	中間アウトカム
1	必要な患者に対し、適切なタイミングで、がん遺伝子パネル検査等及びその結果を踏まえた治療を行う		1	必要な患者に対し、適切なタイミングで、がん遺伝子パネル検査等及びその結果を踏まえた治療ができています	がんゲノム情報管理センターに登録された患者数	1	必要な全ての患者に、がん遺伝子パネル検査が行われ、その結果に基づいて治療が選択できている
					琉球大学病院において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者数		がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルの結果治療薬の選択肢が提示された割合
					以下の専門家の数 ①臨床遺伝専門医 ②認定遺伝カウンセラー ③がんゲノム医療コーディネーター		がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルで推奨された薬剤が投与された割合
							患者体験調査 ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っている割合
<b>④手術療法</b>							
4	個別施策	指標	4	初期アウトカム	指標	4	中間アウトカム
1	必要な資格を持った専門家が計画的に養成を行い、「施設」に必要なに応じて配置する		1	必要な資格を持った専門家が計画的に養成でき、「施設」に必要なに応じて配置できている	以下の専門家の数 ①消化器外科専門医 ②呼吸器外科専門医 ③小児外科専門医 ④乳癌外科専門医	1	必要な患者に対して、最適な手術が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている
							DPC-QI 拠点病院における5大がん患者の術後30日以内の死亡率

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん医療提供体制】

D 個別施策		C 初期アウトカム		B 中間アウトカム		A 分野アウトカム	
			以下の専門家が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合 ①消化器外科専門医 ②呼吸器外科専門医 ③小児外科専門医 ④乳腺外科専門医		DPC-QI 診断から手術までの日数（術前化学療法の対象外のがん種・ステージ患者を対象を限定）		
2	「施設」では、標準治療を質が高く安全に実施する	2	「施設」では、標準治療が質が高く安全に実施できている	厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業 (JANIS)へ登録している拠点病院等の割合	DPC-QI（別表参照）		
3	高い技術を要する手術療法について、集約化を行う	3	高い技術を要する手術療法について、集約化ができています	食道、胆道、膵臓の手術を「施設」で行った患者の割合	NDB-SCR/NDB（選定中）		
					医療従事者調査指標（検討中）		

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん医療提供体制】

D 個別施策		C 初期アウトカム		B 中間アウトカム		A 分野アウトカム	
<b>⑤放射線療法</b>							
5	個別施策	5	初期アウトカム	5	中間アウトカム	指標	
1	必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、「施設」に必要なに応じて配置する	1	必要な資格を持った専門家が計画的に養成でき、「施設」に必要なに応じて配置できている	1	必要な患者に対して、最適な放射線治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている	DPC-QI QI-Ig17 I期非小細胞癌の非手術例に対する定位放射線治療	
			以下の専門家の数 ①放射線治療専門医 ②放射線治療専門放射線技師 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師			DPC-QI (別表参照)	
			以下の専門家が、常勤で配置されている放射線治療施設のそれぞれの割合 ①放射線治療専門医2名以上 ②放射線治療専門放射線技師2名以上 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師			NDB-SCR/NDB (選定中)	
2	放射線療法が可能な全ての医療機関において、IMRTを含む標準治療を行う	2	放射線療法が可能な全ての医療機関において、IMRTを含む標準治療ができている			医療従事者調査指標 (検討中)	
3	「施設」では、粒子線治療や核医学治療、ホウ素中性子捕捉療法等について、適切に患者を紹介する	3	「施設」では、粒子線治療や核医学治療、ホウ素中性子捕捉療法等について、適切に患者を紹介できている				
			「施設」から紹介されて、粒子線治療や核医学治療、ホウ素中性子捕捉療法等を受けた患者の数				
<b>⑥薬物療法</b>							
6	個別施策	6	初期アウトカム	6	中間アウトカム	指標	
1	必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、「施設」に必要なに応じて配置する	1	必要な資格を持った専門家が計画的に養成でき、「施設」に必要なに応じて配置できている	1	必要な患者に対して、最新の知見に基づく、最適な薬物療法が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている	DPC-QI QI-Ig23 小細胞肺癌に対するシスプラチン併用化学療法・4-6コース	
			以下の専門家の数 ①がん薬物療法専門医 ②がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師および外来がん治療認定薬剤師 ③がん看護専門看護師、がん薬物療法看護認定看護師および乳がん看護認定看護師			DPC-QI (別表参照)	
			以下の専門家が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合 ①がん薬物療法専門医 ②がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師および外来がん治療認定薬剤師 ③がん看護専門看護師、がん薬物療法看護認定看護師および乳がん看護認定看護師			NDB-SCR/NDB (選定中)	
2	「施設」では、標準治療を、質が高く安全に実施する	2	「施設」では、標準治療が、質が高く安全に実施できている			医療従事者調査指標 (検討中)	
			手術から化学療法開始までの期間				

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん医療提供体制】

番号	D 個別施策	番号	C 初期アウトカム	番号	B 中間アウトカム	番号	A 分野アウトカム
3	拠点病院等では、並存疾患のある患者に対する薬物療法を安全に実施する	3	「がん診療連携拠点病院等」(以下、拠点病院等)では、並存疾患のある患者に対する薬物療法が安全に実施できている	2	県民が免疫療法に関する正しい情報を取得できている		世論調査 科学的根拠を有する免疫療法について国民が必要な情報を取得できている割合
4	県民に、薬物療法等に関する正しい情報提供を行う	3	県民は、薬物療法等に関する正しい情報を得ることができている				

⑦チーム医療の推進

7	個別施策	指標	7	初期アウトカム	指標	7	中間アウトカム	指標
1	「施設」では、医療者のあいだの情報共有をする		1	「施設」では、医療者のあいだの情報共有ができている		1	医療者のあいだの情報共有ができている	患者体験調査 医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合
2	「施設」では、院内や地域の歯科医師、歯科衛生士等と連携し、医科歯科連携によるがん患者の口腔の管理を行う		2	「施設」では、院内や地域の歯科医師、歯科衛生士等と連携し、医科歯科連携によるがん患者の口腔の管理ができている	NDB-SCR/NDB 周術期口腔機能管理計画策定料	2	医療者、特に医師とそれ以外の医療者のあいだでのコミュニケーションができている	医療従事者調査 指標(検討中)
					NDB-SCR/NDB 周術期口腔機能管理料 (I)(II)(III) がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している「施設」の割合			
3	「施設」では、栄養サポートチーム等の専門チームと連携し、栄養指導や管理を行う		3	「施設」では、栄養サポートチーム等の専門チームと連携し、栄養指導や管理ができている	「栄養サポートチーム加算」を算定している 「施設」の割合			
					NDB-SCR/NDB 栄養サポートチーム加算			

⑧医療実装

8	個別施策	指標	8	初期アウトカム	指標	8	中間アウトカム	指標
1	「施設」では、新規に認可された医薬品、医療機器及び医療技術を速やかに患者に提供する		1	「施設」では、新規に認可された医薬品、医療機器及び医療技術が、速やかに患者に提供できている		1	新規に認可された医薬品、医療機器及び医療技術が、沖縄県内において速やかに患者に提供され、希望する患者が治験等に参加できている	患者体験調査 一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合
2	「拠点病院等」では、治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行い、患者を紹介する		2	「拠点病院等」では、治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供が行われており、希望する患者等が参加できている	臨床試験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口を設置している拠点病院数			「拠点病院等」において新規に認可された免疫チェックポイント阻害薬が実際に使えるようになった日数
					「拠点病院等」において実施されている臨床研究の数			治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に参加した患者の数



ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：緩和・支持療法】

D 個別施策		C 初期アウトカム		B 中間アウトカム		A 分野アウトカム	
<b>①緩和ケア</b>							
1	個別施策	指標	1	初期アウトカム	指標	1	分野アウトカム
1	「施設」では、主治医を中心とした、組織化した緩和ケアを提供する		1	「施設」では、主治医を中心とした、組織化した緩和ケアを提供している	「施設」の緩和ケアチーム新規診療症例数	1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています
					リンクナース制度を運用している「施設」の割合		患者体験調査 身体的苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると感ずる患者の割合
					緩和ケアに関する項目を、日常診療の定期的な確認項目に組み込んでいる「施設」の割合		患者体験調査 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合
2	すべての医療機関において、がん患者が、医療者に苦痛の表出ができるようにする		2	すべての医療機関において、がん患者が、医療者に苦痛の表出ができています		2	緩和ケアの質の向上ができています
					緩和ケア外来の新規診療症例数		患者報告アウトカム (PRO) の症状改善率
3	「施設」では、専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームを整備する		3	「施設」では、専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームが整っている			DPC-QI QI-st18x (実態指標) 切除不能進行胃がんへの適切な体制による緩和ケア 医療従事者調査指標 (検討中)
					緩和ケア外来への、地域の医療機関からの紹介件数		
					「拠点病院等」の地域連携推進のための多施設合同会議の開催数		
					NDB-SCR/NDB 緩和ケア診療加算の算定回数		
					NDB-SCR/NDB L101神経ブロック(神経破壊剤又は高周波凝固法使用)		
					NDB-SCR/NDB 緩和的放射線照射の実施数: M001-3(直線加速器による放射線治療)の2		
					以下の専門家の数 ①緩和医療学会 専門医および認定医 ②登録精神腫瘍 医および精神腫 瘍専門医 ③緩和薬物療法 認定薬剤師 ④緩和ケア認定 看護師 ⑤公認心理師お よび臨床心理士		
					以下の専門家が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合 ①緩和医療学会 専門医および認定医 ②登録精神腫瘍 医および精神腫 瘍専門医 ③緩和薬物療法 認定薬剤師 ④緩和ケア認定 看護師 ⑤公認心理師お よび臨床心理士		
4	県民の緩和ケアへの理解度を向上させる		4	県民の緩和ケアへの理解度が向上している			
					世論調査 国民の緩和ケアに関する認識		
					世論調査 国民の医療用麻薬に関する認識		
<b>②在宅医療</b>							
2	個別施策	指標	2	初期アウトカム	指標	2	中間アウトカム

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：緩和・支持療法】

番号	D 個別施策	番号	C 初期アウトカム	番号	B 中間アウトカム	番号	A 分野アウトカム
1	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合を増加させる	1	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合が増加できている	1	患者に切れ目のない医療・ケアが提供できている	1	遺族調査 望んだ場所で過ごせたがん患者の割合
2	在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度を向上させる	2	在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度が向上できている	2	希望する患者の在宅医療への移行が十分にできている	2	遺族調査 患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった割合 遺族調査在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度
3	在宅医療を提供できる必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、必要に応じて配置する	3	在宅医療を提供できる必要な資格を持った専門家が計画的に養成でき、必要に応じて配置できている	3		3	医療従事者調査 指標（検討中）

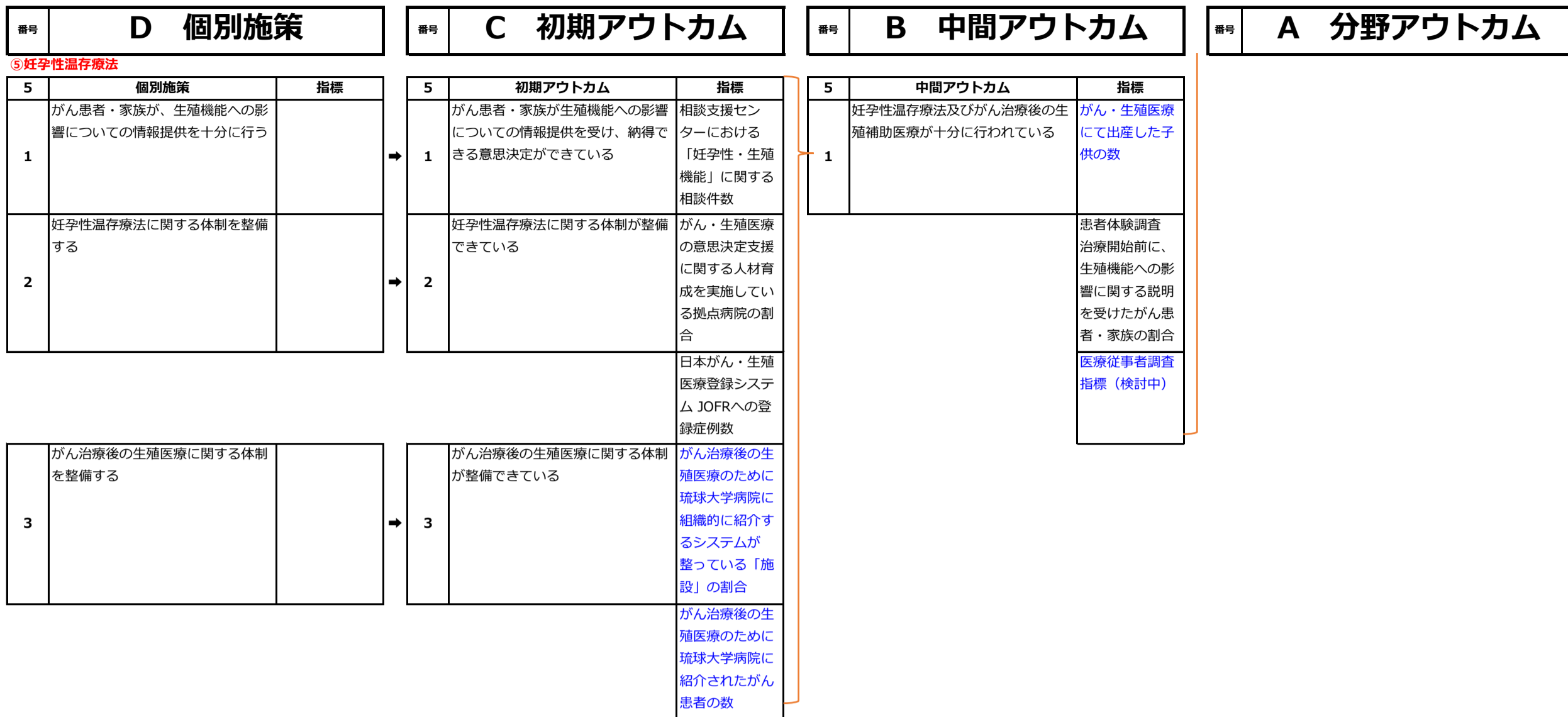
③リハビリテーション

3	個別施策	指標	3	初期アウトカム	指標	3	中間アウトカム	指標
1	すべてのがん患者に対して、リハビリが必要かどうかの評価をする体制が整え、その結果を踏まえたリハビリを施行する		1	すべてのがん患者に対して、リハビリが必要かどうかの評価をする体制が整っていて、その結果を踏まえたリハビリを提供できている	がんリハビリテーション研修プログラムを修了している医療従事者の人数	1	[施設]では、必要な全ての患者に、適切なリハビリテーションができています	拠点病院等に入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合
					リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されている「施設」の割合			医療従事者調査 指標（検討中）
					がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置している「施設」の割合			

④支持療法

4	個別施策	指標	4	初期アウトカム	指標	4	中間アウトカム	指標
1	患者が、治療に伴う副作用・合併症・後遺症への見通しを持ち、身体的苦痛や外見の変化等があった際に容易に相談できる環境を整備する		1	患者が、治療に伴う副作用・合併症・後遺症への見通しを持ち、身体的苦痛や外見の変化等があった際に容易に相談できる環境が整っている	リンパ浮腫研修の受講者数	1	[施設]では、各種ガイドラインに基づく十分な支持療法が行われている	患者体験調査 治療による副作用の見通しを持った患者の割合
					リンパ浮腫外来が設置されている「施設」の割合			拠点病院において支持療法に関する標準診療を実施された患者の割合
					ストーマ外来が設置されている「施設」の割合			DPC-QI QI-o17 嘔吐高リスクの抗がん剤への3剤による予防的制吐剤
2	[施設]では、各種ガイドラインに基づく支持療法を、組織的に行う体制を整備する		2	[施設]では、各種ガイドラインに基づく支持療法を、組織的に行う体制が整っている	制吐薬適正使用ガイドラインに基づく院内マニュアルを作成し、レジメンの登録が行われている「施設」の割合	2		DPC-QI（別表参照）
								NDB-SCR/NDB リンパ浮腫複合的治療料 医療従事者調査 指標（検討中）

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：緩和・支持療法】



ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

D 個別施策			C 初期アウトカム			B 中間アウトカム			A 分野アウトカム		
<b>①希少がん</b>											
1	個別施策	指標	1	初期アウトカム	指標	1	中間アウトカム	指標	1	分野アウトカム	指標
1	希少がん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する		1	希少がん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供できている		1	希少がん患者の生存率の改善ができている	希少がん患者の初診から診断までの時間、診断から治療開始までの時間	1	がんの種類、年代、住んでいる地域に拘わらず、がん診療の質の向上ができている	希少がんの5年生存率
2	希少がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する		2	希少がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供できている	がん相談支援センターに相談した希少がん患者の数	2	希少がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている	患者体験調査 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた希少がん患者の割合	2	がんの種類、年代、住んでいる地域に拘わらず、全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている	難治性がん（代表例：膀胱がん）の5年生存率
3	希少がん患者を、速やかに琉球大学病院または県立中部病院に紹介する		3	希少がん患者が、速やかに琉球大学病院または県立中部病院に紹介できている	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数（琉大病院と中部病院）			医療従事者調査 指標（検討中）			小児がん患者の5年生存率
					琉大病院と中部病院で治療を受けた希少がん患者の割合						AYA世代のがんの5年生存率
4	希少がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療を、タイムリーで質が高く、安全に実施する		4	希少がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている	希少がんに対する臨床試験等を行っている「施設」の割合						以下の二次医療圏の5年生存率 ①北部医療圏 ②宮古医療圏 ③八重山医療圏
					臨床試験等を受けた希少がん患者の数						患者体験調査 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合
											患者体験調査 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合
											小児がん体験調査 小児がん患者のがんの診断・治療全般の総合評価（平均点又は評価が高い人の割合）
<b>②難治性がん</b>											
2	個別施策	指標	2	初期アウトカム	指標	2	中間アウトカム	指標			
1	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供される		1	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供できている	難治性がんに関するHP等の整備を行っている「施設」の割合	1	難治性がん患者の生存率の改善ができている	医療従事者調査 指標（検討中）			
2	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供される		2	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供できている	がん相談支援センターに相談した希少がん患者の数	2	難治性がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている				
3	県内の医療機関について、難治性がん診療における適切な役割分担を行う		3	県内の医療機関について、難治性がん診療における適切な役割分担の実現ができている	(再掲) 医療計画に基づいて協議を行い決定したがん種の数（増加が良い）						
					(再掲) 医療計画に基づいて協議を行い決定した「施設」の総数（減少が良い）						
					難治性がん診療を積極的に受け入れている「施設」における治療開始数						
					「施設」で治療を受けた難治性がん患者の割合						
4	難治性がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施される		4	難治性がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている	難治性がんに対する臨床試験等の種類数						
					臨床試験等を受けた難治性がん患者の数						
<b>③小児がん</b>											
3	個別施策	指標	3	初期アウトカム	指標	3	中間アウトカム	指標			
1	小児がん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する		1	小児がん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供できている		1	小児がん患者の生存率の改善ができている	小児がん患者の初診から琉球大学病院または県立子ども医療センターを紹介受診した日数			

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

番号	D 個別施策	番号	C 初期アウトカム	番号	B 中間アウトカム	番号	A 分野アウトカム
2	小児がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する	2	小児がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供できている 国立がん研究センターによる「がん相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターが実施する「小児がん相談員専門研修」を修了した者の数 がん相談支援センターに相談した小児がん患者の数	2	小児がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている 小児がん体験調査 がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う小児がん患者の割合 小児がん体験調査 治療開始前に教育の支援等について医療スタッフから話があったと回答した人の割合		
3	小児がん患者が、速やかに琉球大学病院または県立こども医療センターに紹介する	3	小児がん患者が、速やかに琉球大学病院または県立こども医療センターで紹介できている 琉球大学病院または県立こども医療センターで治療を受けた小児がん患者の割合		小児がん体験調査 がん治療のため転校・休学・退学したと回答した人のうち、患者の治療中に何らかの就学支援制度を利用したと回答した人の割合		
4	小児がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する	4	小児がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている 琉球大学病院または県立こども医療センターにおいて実施されている治験数 臨床試験等を受けた小児がん患者の数 以下の専門家の数 ①小児血液・がん専門医 ②小児外科専門医および小児がん認定外科医 琉球大学病院または県立こども医療センターに常勤で勤務している専門家の数 ①小児血液・がん専門医 ②小児外科専門医および小児がん認定外科医		小児がん体験調査 治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合 医療従事者調査指標（検討中）		
5	小児がん患者に対して、晚期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う	5	小児がん患者に対して、晚期合併症の検索も含めて、長期フォローアップができている 都道府県協議会でフォローアップの連携体制について議論している回数 長期フォローアップ外来を設置している施設数 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数 長期フォローアップ外来で長期にフォローアップをしている小児がん患者数				
6	小児がん患者に対して、治療と並行した学業の継続、治療終了後の進学や就職に対しての支援を行う	6	小児がん患者に対して、治療と並行した学業の継続、治療終了後の進学や就職に対しての支援ができている がん相談支援センターにおける小児がん患者の教育に関する相談件数 がん相談支援センターにおける小児がん患者の就労に関する相談件数				
7	小児がん患者の家族、特に両親や同胞への支援を行う	7	小児がん患者の家族、特に両親や同胞への支援ができている 小児がんに関する患者団体の数				

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

番号	<b>D 個別施策</b>	番号	<b>C 初期アウトカム</b>	番号	<b>B 中間アウトカム</b>	番号	<b>A 分野アウトカム</b>
----	---------------	----	------------------	----	------------------	----	------------------

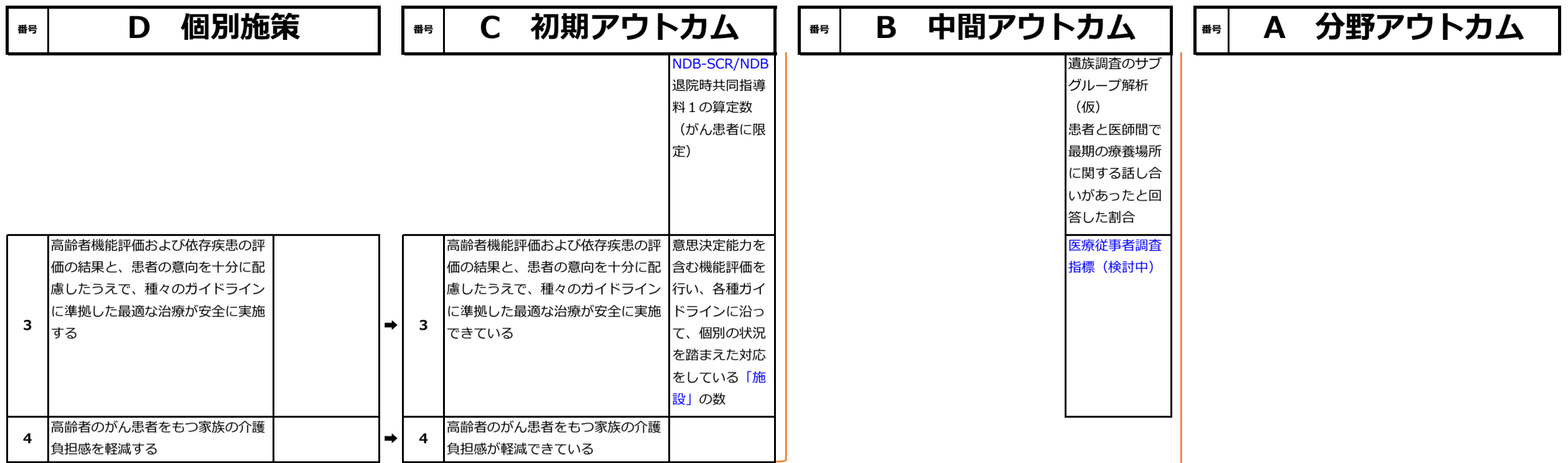
④ AYA世代のがん

4	個別施策	指標	4	初期アウトカム	指標	4	中間アウトカム	指標
1	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する		1	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供できている		1	AYA世代のがん患者の生存率の改善ができています	医療従事者調査指標（検討中）
2	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する		2	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供できている	がん相談支援センターに相談したAYA世代のがん患者の数	2	AYA世代のがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています	患者体験調査＜若年がん患者のみ＞治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合
3	AYA世代のがん患者が、速やかにがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）に紹介する		3	AYA世代のがん患者が、速やかにがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）に紹介できている	拠点病院等で治療を受けたAYA世代のがん患者の割合			
4	AYA世代のがん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する		4	AYA世代のがん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている	拠点病院等において実施されている治験数			
					臨床試験等を受けたAYA世代のがん患者の数			
5	AYA世代のがん患者に対して、晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う		5	AYA世代のがん患者に対して、晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップができています	都道府県協議会でフォローアップの連携体制について議論している回数			
					長期フォローアップ外来を設置している施設数			
					小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数			
					長期フォローアップ外来で長期にフォローアップをしているAYA世代のがん患者			
6	AYA世代のがん患者に対して、治療と並行した学業や就労の継続、治療終了後の進学や就職に対する支援を行う		6	AYA世代のがん患者に対して、治療と並行した学業や就労の継続、治療終了後の進学や就職に対する支援ができています	がん相談支援センターにおける、AYA世代のがん患者の発育及び療養上の相談への対応・支援のうち、教育に関する相談件数			
					がん相談支援センターにおける、AYA世代のがん患者に対する就労に関する相談件数			
7	子供がいるAYA世代のがん患者に対して、その子供に対する支援を行う		7	子供がいるAYA世代のがん患者に対して、その子供に対する支援ができています	親ががんになった子ども、そしてその患者さん、ご家族を支援する団体に紹介したAYA世代のがん患者の数			

⑤ 高齢者のがん

5	個別施策	指標	5	初期アウトカム	指標	5	中間アウトカム	指標
1	地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、高齢者のがん患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備する		1	地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、高齢者のがん患者やその家族等の療養生活を支えるための体制が整備できている	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている「施設」の数	1	高齢者のがん患者の生存率の改善ができています	遺族調査のサブグループ解析（仮） 介護をしたことで、全体的に負担感が大きかったと回答した割合
2	療養場所の選択も含めて、すべての高齢者のがん患者に、適切な意思決定支援と適切なアドバンスケアプランニングを行う		2	療養場所の選択も含めて、すべての高齢者のがん患者に、適切な意思決定支援と適切なアドバンスケアプランニングができています	NDB-SCR/NDB 介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	2	高齢者のがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています	遺族調査のサブグループ解析（仮） 医師・看護師・介護職員など医療者同士の連携はよかったと回答した割合

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】



⑥ 離島・へき地

